

令和2年1月市長定例記者会見 記録

令和2年1月29日(水)

午前10時～午前10時25分

発表案件

1. 佐渡金銀山遺跡 講演会の開催について

佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」におきまして、佐渡金銀山の価値や魅力を紹介する講演会を開催いたします。講演会は、令和2年2月15日の土曜日午前10時から、九州大学名誉教授の井澤英二様から、「17世紀慶長元和の佐渡における技術変革—銀山から金銀山へ—」と題しまして講演をしていただくこととなります。入場料は無料でございます。定員は80名となっており、事前のお申し込みが必要でございます。申し込み方法は、市ホームページのお申し込みフォームもしくは、電話、ファックスにてお願いいたします。電話でのお申し込みにつきましては、世界遺産推進課電話番号63-5136もしくは、きらりうむ佐渡電話番号74-2215までお願いいたします。

なお、講演会に参加されました方は、きらりうむ佐渡の展示室を無料でご覧いただけます。この機会にきらりうむ佐渡の展示をご覧いただくとともに、専門家による研究成果など貴重なお話をお聞きいただければ幸いです。多数の皆様からのご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

2. 新潟—台湾 直行便の休止に伴う外国人旅行者の誘客について

佐渡市と佐渡観光交流機構、佐渡汽船の3者は、連携して外国人旅行者の誘客に取り組んでおります。このたび、令和2年3月1日から6月末までの期間限定で、外国人旅行者を対象とした佐渡汽船利用料金の特別割引を実施いたします。これは、佐渡汽船の切符売り場にて航空券を提示した外国人旅行者に約15%から32%の運賃割引を適用して販売するものでございます。

平成30年の市内の外国人の延べ宿泊数は約2万5,000人泊でございました。そのうちの約6割が台湾からのお客様であり、新潟—台湾便が重要な路線でございました。しかし、新潟—台湾便が昨年12月13日から運航を休止したため、佐渡市では、現地旅行会社や他の航空会社と今後の誘客について協議を重ね、今回対応策として取り組むことになったものでございます。

運賃割引の対象となります航空会社は、新潟—台湾線を令和2年3月30日から運航いたしますタイガーエア、現在新潟—香港線を運航しておりますキャセイドラゴン航空、さらに香港を拠点として日本に多くの就航都市がございますキャセイパシフィック航空の3社でございます。

また、3月に発刊されます今述べさせていただいた3社の機内誌において、佐渡の特集記事を掲載いたします。観光資源の紹介に加えまして、佐渡汽船の運賃割引、佐渡の魅力満喫できる佐渡体験商品のほか、これまで国内のみを対象とさせていただいておりましたさどまる倶楽部に、新たに台湾・香港を対象に加えさせていただき、案内させていただきます。以上のものを掲載することで、3月以降の台湾、香港からの誘致を図る予定でございます。

3. 第3次佐渡市男女共同参画計画(案)に係るパブリックコメントの実施について

市では、平成27年度に策定した第2次佐渡市男女共同参画計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向け取り組んでまいりました。第2次計画の計画期間が本年度末をもちまして終了することから、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間といたします第3次佐渡市男女共同参画計画を現在策定しております。この計画の策定にあたりましては、令和元年7月に市民意識調査を実施し、その結果も加味しながら有識者及び一般公募委員で構成されます男女共同参画推進懇談会を開催し、協議を行ってまいりました。国の男女共同参画社会基本法に基づき、本市の情勢に合わせ佐渡の男女共同参画社会の実現に向けた計画にしたいと思っております。

このたびその計画案ができましたので、これに対し市民の方から広く意見を求め、計画に反映することを目的としまして、現在令和2年1月24日から2月24日までパブリックコメントを実施しております。この計画案につきましては、本庁舎1階、島内の各支所・行政サービスセンター及び各図書館、図書室、ホームページ等でも閲覧可能でございますので、大勢の皆様からのご意見をお待ちしております。

事前質問

なし

質疑応答

1. 佐渡金銀山遺跡 講演会の開催について

なし

2. 新潟—台湾 直行便の休止に伴う外国人旅行客の誘客について

記者：

この割引なんですけども、いくつか教えていただきたいんですけども、こうした割引の取り組み初めてでいらっしゃるかということ。それから、財源はどういったものを充てられるかということ。あと、後段にありますPRも含めてですね、今回の取り組みを通じて香港から佐渡に訪れる観光客など、どのくらいの増加を目指していらっしゃるか、そういった点をお願いします。

観光振興課長：

まず今回の割引の取り組みですが、路線を限定して割引を行うというものは、記憶している限りは初めてかと思えます。割引原資につきましては、こちらは佐渡汽船の自主努力と聞いております。もう一つ側面支援として佐渡市のほうで行うプロモーションの部分につきましては、特定有人国境離島の交付金を活用させていただいております。入込みの状況です。まず、手持ちで今持っている資料ですと、29年と30年の入込みというところになります。台湾と香港の数字でちょっと述べさせていただきます。29年の台湾が、これ島内における宿泊数になりますが、29年が1万3,437泊。台湾の30年が1万5,203泊ということになりますし、香港になりますが、29年が125

泊。30年が196泊という数字になってございます。

記者：

今回の取り組みでどれくらいの増加見込みがあるのか。

観光振興課長：

まず見込みというところですが、全く新しい取り組みというところもありますし、元々香港からは、個人のお客様が多く来られているというところがございます。予約してどのくらいの数字、お客さんが入ってこられるかという見通しは今のところ立ちません。ですが、今までおこなってこなかった成田、羽田を使っているキャセイパシフィック、そういうところまでプロモーションを図るところから、個人のお客様は相当増えていくのかなというふうにして見込んでいるところがございます。

記者：

この15%から32%っていうのは、航空会社によって違うということですか。

観光振興課長：

割引率でございますが、こちらカーフェリーとかジェットフォイルの金額から割引を計算した、例えばジェットフォイルですと定価が6,640円のところ4,500円で提供すると。割引としましては2,140円。カーフェリーの2等ですと2,550円のところ2,100円というところで、元々の価格の設定から割引の率が違います。便によって割引を変えているというものではございませんで、船の定価によるというところでご理解いただきたいと思います。

3. 第3次佐渡市男女共同参画計画(案)に係るパブリックコメントの実施について

なし